

## 平成19年度岡山県食品衛生監視指導計画に基づく 監視指導結果について（概要）

食品衛生法の規定により定めた「平成19年度岡山県食品衛生監視指導計画」に基づき実施した監視指導、試験検査、自主管理の推進、リスクコミュニケーションの推進結果については、次のとおりです。

記

### 1 監視指導結果

飲食店、食品製造施設、学校給食施設等を対象に施設・設備の衛生管理、食品の衛生的な取扱い等の指導を実施した。

対象施設	監視目標	監視指導結果	目標達成率
26,084 施設	23,109 施設	26,660 施設	115 %

### 2 試験検査結果

#### (1) 収去検査

検査目標検体数	検査実施検体数	違反件数
3,400 検体	3,597 検体	3 件 <sup>注2</sup>

注1：収去検査とは、食品衛生法に基づき、流通食品を無償で譲り受け違反の有無を確認する行政検査である。

注2：違反の内容は、生食用かき加工基準違反（養殖海域海水の大腸菌群最確数違反）3件であった。

なお、これらについては、加熱用への転用等を指示した。

#### (2) 腸管出血性大腸菌対策

県内に流通する食品を対象に、腸管出血性大腸菌の汚染実態調査を実施したが、検査した食品すべてで不検出であった。

検体数	検出	不検出
2,494	0	2,494

#### (3) 買上検査

検査区分	検査項目	検査目標 検体数	検査実施 検体数	検査結果
遺伝子組換え食品検査	遺伝子組換え食品	30	35	すべて適
アレルギー物質の検査	アレルギー物質	20	20	1件不適合 <sup>注3</sup>

注3：焼き菓子から表示にない乳を検出した。

なお、これについては、原因究明を行い、表示指導を行うとともに、自主回収及び消費者への周知等の措置を指導し安全を確保した。

#### (4) 食品苦情及び食中毒発生時の原因究明のための検査

	検査実施検体数
食品苦情検査	188 検体
食中毒検査	331 検体

#### (5) と畜検査

区分	検査頭数	全部廃棄頭数	一部廃棄頭数
牛	4,957 頭	157 頭	2,984 頭
馬	25 頭	0 頭	3 頭
豚	413 頭	0 頭	354 頭
めん羊・山羊	1 頭	0 頭	1 頭

(6) BSE等スクリーニング検査（全頭検査）

検査頭数	陰性	要確認検査
4,958頭	4,958頭	0頭

※ めん羊1頭を含む

3 中国産冷凍食品に関する対応状況

平成20年1月に発生した、中国産冷凍食品（ギョウザ）の有機リン系農薬による有症苦情に関し、岡山市、倉敷市と連携し、次の対応を実施した。

- ・販売・流通業者への回収指導の徹底
- ・県のホームページ等を通じた情報提供
- ・保健所窓口等での相談対応：187件（内 有症苦情：26件（重傷者なし））
- ・県民から持ち込まれた食品の検査：8件

＊岡山県：6件、岡山市：1件、倉敷市：1件

＊検査は有機リン系農薬について実施したが、すべて未検出であった。

4 衛生知識の普及

消費者、営業者、調理従事者等に対して衛生講習会を開催し、ノロウイルス対策などの食品衛生に関する正しい知識の普及、情報の提供に努めた。

対象者	実施回数（回）	参加人数（人）
営業者・従事者	91	3,428
集団給食従事者	47	2,249
一般消費者等	81	2,674
計	219	8,351
「体験！科学で知る 食の安心」事業（再掲）	101	3,265

5 自主管理の推進

広域流通食品等事業者を中心に衛生管理体制の整備、製造・加工工程の適正管理、適正表示、記録の整備・保管、健康危害のおそれがある食品等の自主回収等について指導を実施した。

岡山県食の安全・安心の確保及び食育の推進に関する条例に基づく自主回収の報告は5件あり、公表等を通じて県内に流通する食品の安全確保に努めた。

6 リスクコミュニケーションの推進

食品の摂取によって人の健康に悪影響が起きるリスク（危険性）について正しい理解を広めるため、消費者、食品等事業者、行政相互間で情報交換、意見交換等を実施した。

- (1) 食の安全相談窓口での対応 1,922件
- (2) 食の安全サポーター拡大事業  
登録者数：50企業（51団体）  
配信回数：8回（定期：6回、臨時2回）
- (3) 「検定一晴れの国おかやまの食ー」  
実施日：平成19年10月28日（日）  
実施場所：岡山県立大学  
受験者数（合格者数）：550名（515名）
- (4) リスクコミュニケーターの養成
  - ① 食品の安全性に関する地域の指導者育成講座：87名
  - ② リスクコミュニケーション（現地視察型意見交換会）